見てみよう!歴史災害記録と旬のあいち

April 2021 1.84

1 2 4 5 6 7 8 9 1 11 12 13 14 15 16 1 18 19 20 21 22 23 2 25 26 27 28 29 30

伊勢湾台風災害復旧竣功記念碑

所在地:弥富市中山町

交 通:近鉄名古屋線「近鉄弥富」駅 南西 約 2km 昭和 34 (1959) 年の伊勢湾台風では、伊勢湾湾奥部の低平地の海岸堤防や河川の河口部の堤防が各所で決壊し、大きな被害が発生しました。破堤箇所は 220 箇所、総延長は 33km 近くに及んでおり、当時の三重県桑名郡木曽岬村などでは、破堤率 100%、全延長決壊となるなど、甚大な被害をもたらす要因となりました。

海岸堤防や河川堤防は、臨海部の低平地にとっては生命線で、伊勢湾台風からの復旧・復興に向けては、破堤した海岸・河川の堤防を締め切って、湛水を一刻も早く排除することが最優先事項となり、干拓地以外の地区については遅くとも昭和34年の年内に排水を完了することを目標として作業が進められました。

堤防の締切の作業手順としては、広大な海抜ゼロメートル地域に海水が常時出入りする状況であったため、東西に走る旧東海道などを利用し、湛水地帯を南北に分断して行うなど、早期に効果を発現させるよう工夫がなされました。破堤箇所の仮締切りの工法は、海原と化した被災地周辺で、膨大な土砂の確保、寸断された輸送経路、動力エネルギーの確保等困難な条件を克服できるサンドポンプ船による川砂の吹き上げ工法が主に採用されています。

伊勢湾沿岸部から愛知県の海部地域に広く及んだ湛水地域の面積は、河川からの浸水区域を含めて約3万 ha に及んでいましたが、関係機関による懸命な作業の結果、海岸堤防、河川堤防の仮締切り工事は、名古屋市内では10月

25日に、干拓地を除く海部地域では被災から2か月近く 経過した11月21日に完了しました。その後、排水作業が 行われ、名古屋市内では11月25日に、海部地域では被災 から3か月後の12月下旬に完了しています。なお、干拓 地については、最後となった鍋田の仮締切りが終わったの は翌年の4月19日となっています。

その後の堤防の本復旧工事については「伊勢湾等高潮対策協議会」が設置され、昭和35年2月の第2回協議会において、伊勢湾等高潮対策事業の計画基本方針が決定されました。また、昭和36年10月の第3回協議会では、名古屋港高潮防波堤計画策定の基本方針が決定され、海岸堤防等の高さを低減するために、鍋田干拓地から対岸の知多半島に向かって延長約8.2kmの防波堤を築造することとされました。高潮対策工事は、第一段階として、昭和35年の台風期までに原型復旧することを目標に進められ、その後、昭和37年の台風期までに計画断面が完成し、名古屋港高潮防波堤も昭和39年に完成しました。

弥富市中山町松山の木曽川左岸には、「伊勢湾台風災害 復旧竣功記念碑」が建立されています。この碑は、昭和38 年3月に、伊勢湾湾奥部低平地の海岸

堤防、河川堤防の本復旧を記念し、当時の異常高潮に加えて、想像を絶する高浪を模して建設されたもので、忘れることのできない史上稀有の災害の苦しみと悲しみを再び繰り返さないため、との思いが込められています。





◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い(二度と被害を繰り返さないように、など)が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していただくとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

◆伊勢湾台風災害復旧竣功記念碑の周辺には…

● 鍋田神明社

所在地: 弥富市鍋田町

交 通:弥富市コミュニティバス「鍋田」停南東約 1.3km

鍋田神明社は伊勢湾台風の 10 周年記念 事業の一つとして、昭和 44 (1969) 年に 造営されました。当地には現在、「伊勢湾 台風殉難之碑」と「伊勢湾台風殉難者慰霊 観音」があります。「殉難之碑」「慰霊観音」



には、伊勢湾台風の犠牲者 へのご冥福と、鍋田干拓地 の繁栄を祈念した気持ちが

込められており、碑には亡くなった 133 名の方の氏名が刻まれています。

● 伊勢湾台風殉難之塔

所在地:弥富市西末広町

交 通:弥富市コミュニティバス「西末広」停西約800m

鍋田干拓地の入口、弥富市西末広町にある「伊 勢湾台風殉難之塔」は、伊勢湾台風の被害の悲 惨さと後世への教訓の思い、全国各地からの救 済への感謝の気持ちが込められた慰霊塔です。

塔の頂上には青銅製観音像が安置され、両側

には、明像(母親が流木の間から 愛児を抱き上げ頬ずりして喜ぶ 像)と暗像(父親が、青年に成長

した変わり果てたわが子を自衛隊員の助けを 得て収容している像)が彫塑されています。



◆詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』(http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html) をご覧ください。

興善寺地蔵

飛島村

八穂地蔵

万明輪中

伊勢湾台風殉難之均

★ 森津の藤まつり

弥富市森津の森津の藤公園は、樹齢 350 年以上と言われる歴史ある藤棚で有名です。この森津の藤は、正保 4 (1647) 年の森津新田開拓 当時に植えられたと伝えられており、江戸時代の『尾張名所図会』にも、「花が満開になると昼間でも空が見えず、まるで紫の雲におおわれたようだ」と記されています。

森津の藤公園では、毎年、この藤が見頃を迎える4月下旬に、森津の藤まつりが開催されます。一面に咲き誇る藤の中、ミス弥富金魚・ミ



Aichi Now HP より

ス弥富の来園もあり、会場は華やかな雰囲気に包まれます。弥富出身の漢詩人である服部擔風の使用していた書斎「藍亭」の公開や、茶会なども開催され、大いに盛り上がります。(2021年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

あいちの農産物

トマトは、現在では生 食用として広く栽培され ていますが、18 世紀ご



愛知県園芸農産課 HP より

ろまでは観賞用として作られており、食用に なるのは大正から昭和にかけてのことです。

動脈硬化の予防効果が期待できるリコピン を豊富に含み、最近では、血液中の脂肪増加 を抑える新成分が発見され、メタボ対策の効 果も期待されています。

現在では、桃太郎という丸玉系が主流ですが、先端がとがった「ファーストトマト」は 愛知県の特産として根強い人気があります。

●ブレイクタイム●

♪ 弥富市歴史民俗資料館

弥富市歴史民俗資料館は、水郷地帯としての歴史、特産の金魚養殖など、弥富市の歴史がわかる資料館です。 館内では、まずロビーの水槽に泳ぐ約20種類の金魚が目を引きます。弥富市の金魚養殖の歴史は江戸時 代にさかのぼり、高級金魚の産地として全国に知られています。文鳥職員の『ぶんちゃん』もお出迎えして くれます。文鳥は金魚と同じころに弥富に来たといわれ、明治時代に突然変異により白文鳥が生まれました。 近年、生産者は減少していますが、弥富市は現在でも「文鳥の聖地」と呼ばれています。



公式 Twitter より

- ◆ この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、 gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。
- ◆ 県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』(http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html) をぜひご覧ください。

(発行:減斎の会・名古屋大学減災連携研究センター 2021年4月)